

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業	事業番号	008-089
担当部署名	文化観光	局	文化
		部	文化
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化	
			有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画						
3	事業開始年度	令和 元 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、堺茶の湯まちづくり条例						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	一般市民（約83万人）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	茶の湯の文化を振興し、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	市内各所で堺おもてなし茶会を開催することにより、市民が身近な場所で茶の湯に触れられる機会を提供する。 なお、令和2年度は、本庁舎・区役所で年3回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み中止した。 【協力】 ・堺市内茶道団体（裏千家淡交会堺支部、武者小路千家大阪官休会堺支部、表千家同門会大阪支部）
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	堺の持つ歴史文化資源である茶の湯の文化を通じた魅力の発信					
	当該目標を設定した理由	堺ならではの文化である茶の湯文化を振興することが、都市魅力の発信や向上に繋がると考えるため。				
	目標に対する実績	令和元年度市政モニター調査で、「茶の湯を含む歴史文化資源に誇りを持っている」と答えた方が7割				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	茶会の参加人数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	270	270	150	
		実績値	191	0		
	達成率	71%	0%			
当該指標を選定した理由	より多くの方に事業参加いただくことが、茶の湯文化の振興に繋がると考えるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	茶会の参加人数 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を制限し実施予定のため、目標値が減少					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業	事業番号	008-089
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	0	1,515	430	0	411
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源		1,515	430	0	411
14 人件費 (b)	0	810	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	2,325	1,250	820	1,231

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		R2	決算				R2	決算	
16 事業費内訳	謝礼金	R2	決算	0	0	R2	決算		
		R3	予算	106	106	R3	予算		
	消耗品費	R2	決算	0	0	R2	決算		
		R3	予算	108	108	R3	予算		
	食料品費	R2	決算	0	0	R2	決算		
		R3	予算	152	152	R3	予算		
会場費等借上料	R2	決算	0	0	R2	決算			
	R3	予算	45	45	R3	予算			
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		千円	千円
① おもてなし茶会等の実施事業の参加者	人	536	0
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,325	820
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	4,338	
備考（算出についての説明等） 令和元年度については、シンポジウムも実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により茶会を中止。			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和元年度においては、おもてなし茶会については、3回実施し、計191人の市民に気軽に茶の湯に親しんでいただけた。また、自治体学会の一環で、「歴史文化をいかしたまちづくりシンポジウム」を開催し、345人の参加があった。令和2年度においては、おもてなし茶会を3回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、この事業は最小限の費用で実施しており、費用対効果は高いものと考えている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和元年度においては、自治体学会の一環で、お茶を含む歴史文化をいかしたまちづくりシンポジウムを開催し、多くの自治体職員を含め、市民の方に堺の茶の湯文化についての知識を深めていただいたり、各区役所等でおもてなし茶会を200人近い市民等に気軽に茶の湯文化に親しんでもらうことができた。令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施ができなかったが、今後も気軽に市民に茶の湯について親しんでもらえる機会を創出し、堺の持つ歴史資源である茶の湯文化について市民の意識を醸成していく。